

Julabo Case Study

39

JULABO PRESTO® W92tt

100リットルのガラス反応容器を用いて、
-50℃から+100℃までの加熱・冷却運転を実施。



目的

このケーススタディはJULABO PRESTOW92ttを
100リットルのガラスリアクターを使い、加熱能力と冷却能力を
テストします。W92ttは2mの金属配管によってリアクターと接
続しています。温度は-50℃から+100℃間で運転します。

テスト条件

JULABO unit JULABO PRESTO® W92tt

冷却能力: +20℃時 19.0kW

0℃時 15.5kW

-20℃時 9.5kW

ヒーター能力: 36kW

バンドリミット: 70K

ポンプ吐出能力: 0.33bar

使用循環液: JULABO Thermal HL80

使用リアクター: 10リットルガラスリアクター Buchiglas製
ジャケット部分に100リットルのJULABO
サーマルHL80で温調します

コントロール: 外部温度コントロール

テスト環境

室温: +20℃

湿度: 45%

電源: 3相 400V 50Hz



テスト結果

次のページの表を参照してください。

W92ttは3時間30分で-50℃から

+100℃までリアクターを過熱しました。

+100℃でオーバーシュートすることなく達しました。

冷却は+100℃から-50℃までオーバーシュートすることなく
2時間50分かかりました。

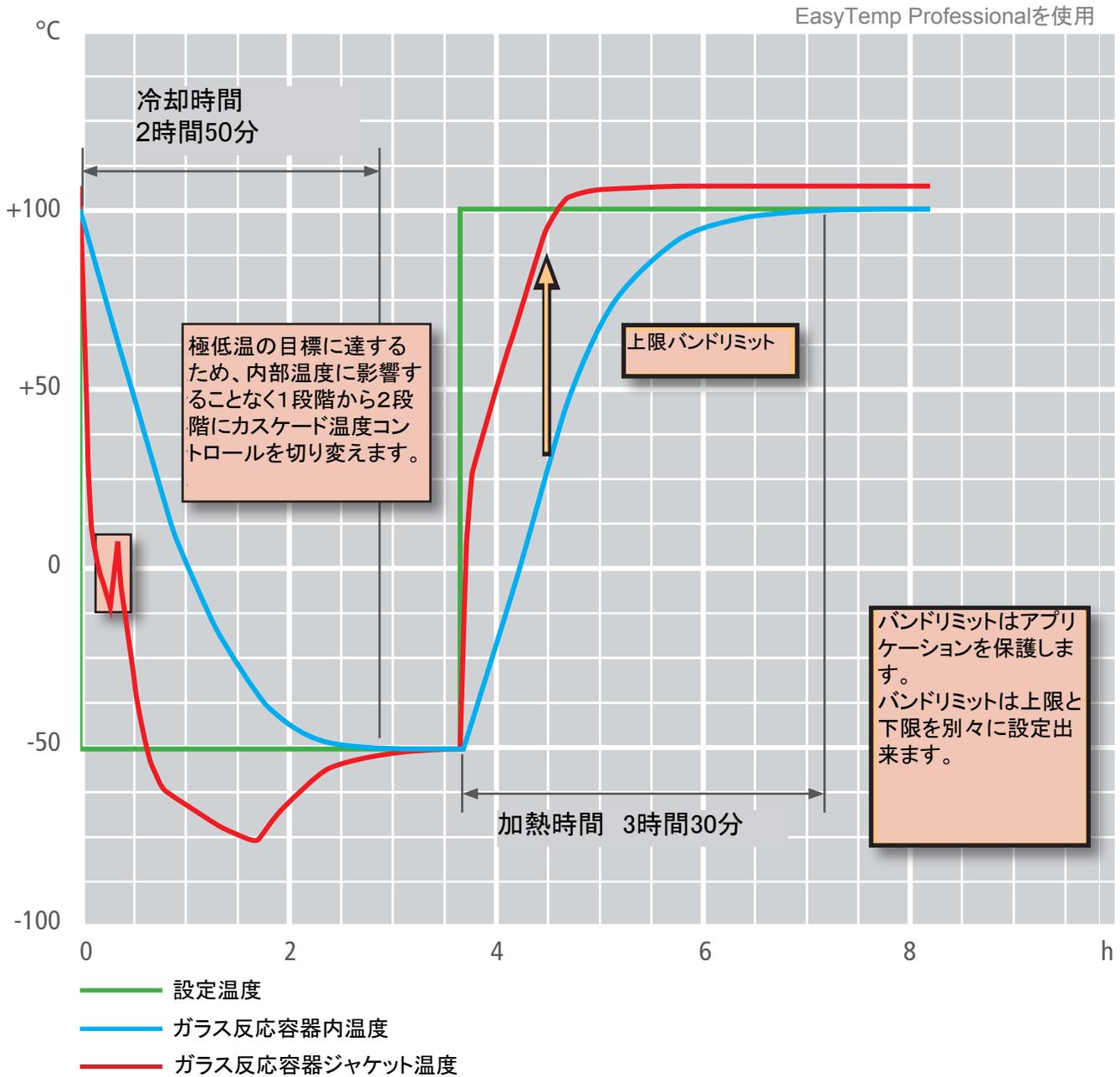
その他機能:

PTFEコーティング
されたPt100センサ
ーを使っています。

次のページに多く
の情報がありません



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0



その他機能：
ポンプ圧調節機能も搭載。
PRESTOには希望のポンプ吐出圧に設定が可能です。



その他機能：
PRESTOはイーサネットインターフェイス搭載



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0